

# 東京湾海況情報 25-11

東京湾水質調査結果（平成26年 2月）

（平成26年 2月24日発行）

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒 293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 2/3：内湾(ふさなみ)、2/6：内房海域(ふさみ丸)

関東・東海海況速報(2/6)、東京湾口海況図(2/6)

モニタリングポスト(2/3：国土交通省関東地方整備局)

## 【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)は全域で9~11℃台前半で、盤洲及び富津周辺では平年よりやや高めになっています。塩分は31~33PSUで、平年よりやや高めでした。

一方、内房海域の表層水温は11~16℃台前半、塩分は33~34PSU台で、金谷から久里浜を結ぶライン付近まで塩分34PSU以上の水塊がみられ、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみても、塩分34PSU以上の水塊が久里浜沖付近まで及んでいます。

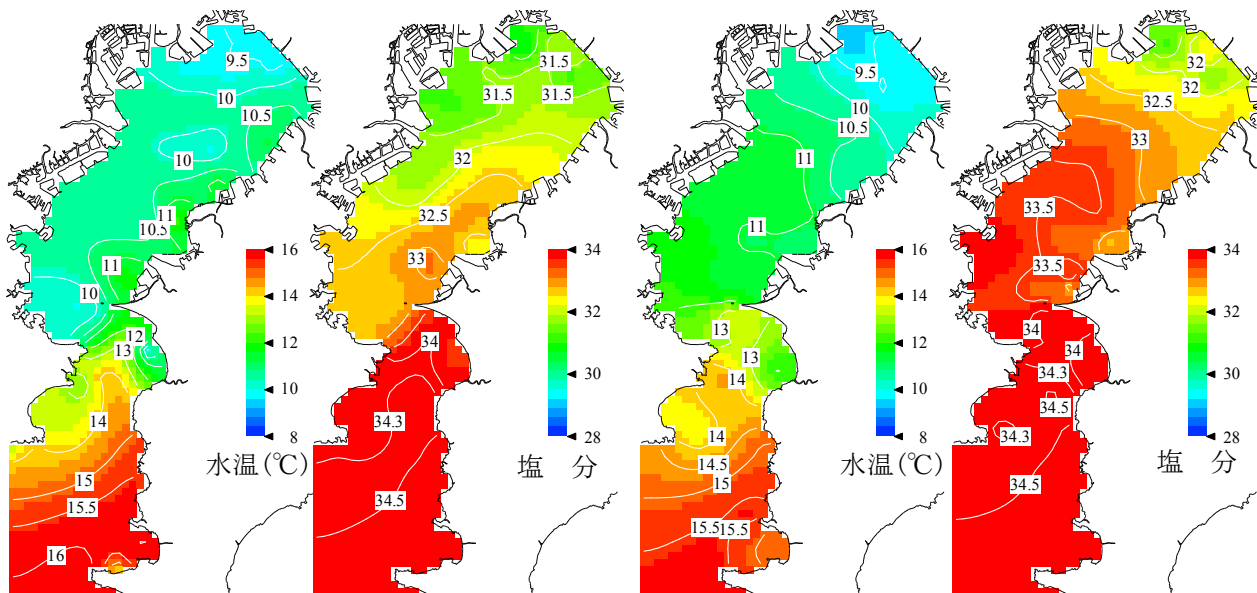


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

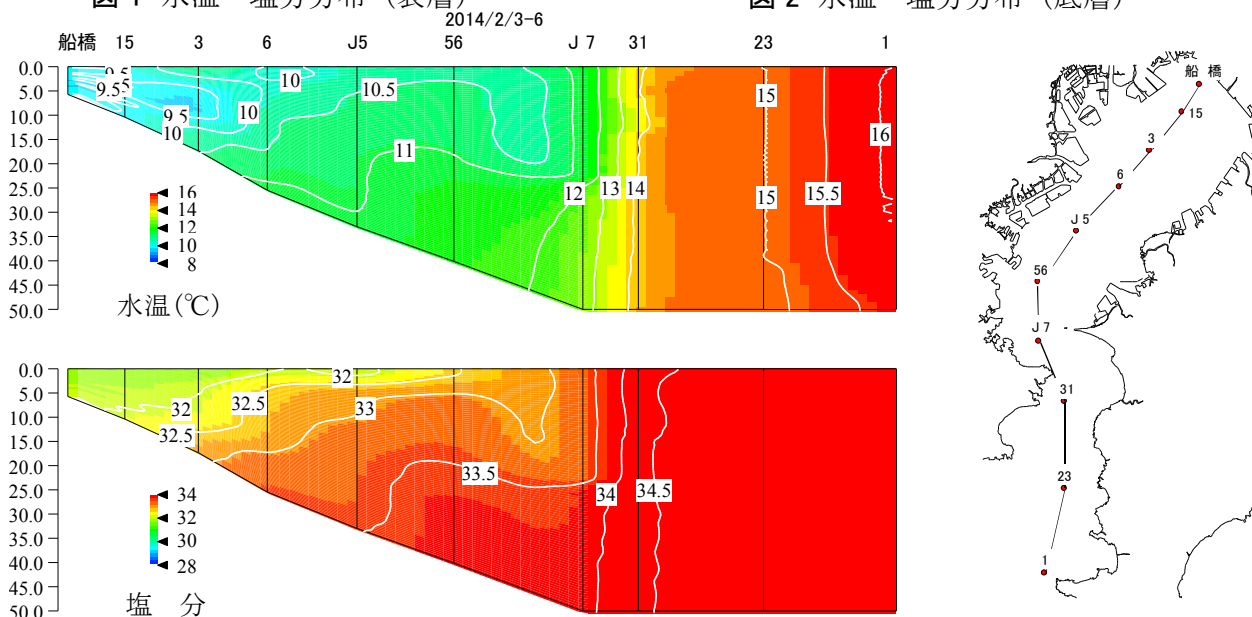


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

## 【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していません。

プランクトンは少なく、ケイ藻のスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)やタラシオシラ(*Thalassiosira* sp.)などが内湾北部でやや多くみられる程度でした。透明度は内湾北西部で3m前後とやや低くなっていましたが、水色はおおむね緑から褐緑色でした。

なお、保田から富浦にかけての周辺海域では非常に少ない状態でした。

これらはいずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 $\mu$ g/L以上

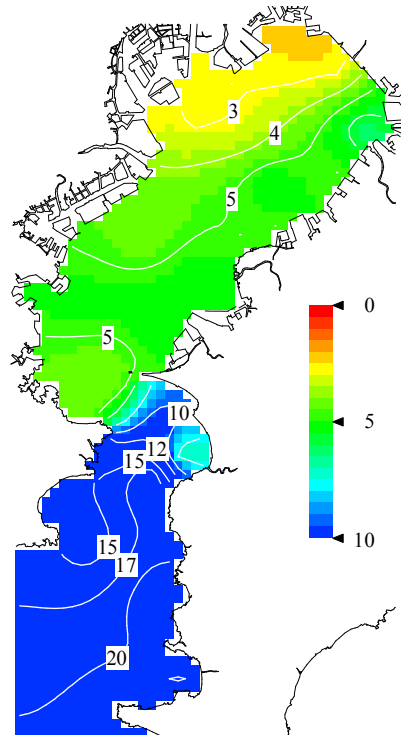


図4 透明度の分布(m)

## 【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)はほぼ全域で5ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません。

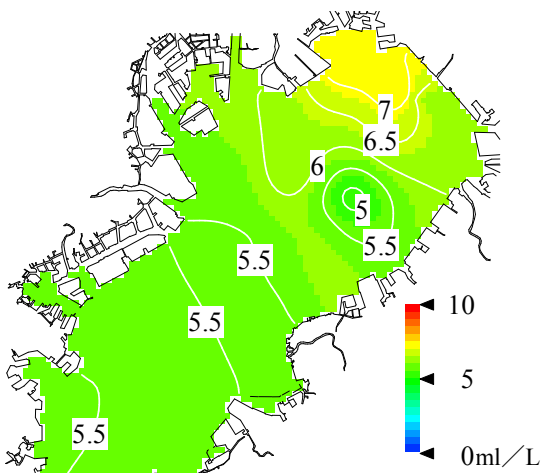


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

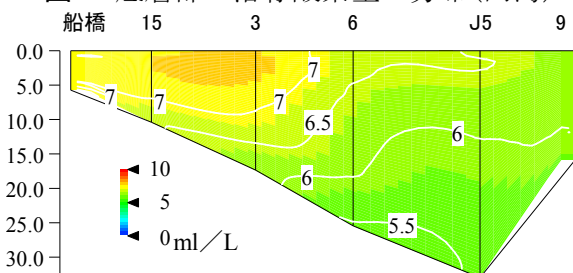


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L

## 【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は、溶存無機態窒素(DIN)は全域でほぼ平年並みになっていますが、リン酸態リン( $PO_4-P$ )は内湾で平年より少なくなっています。

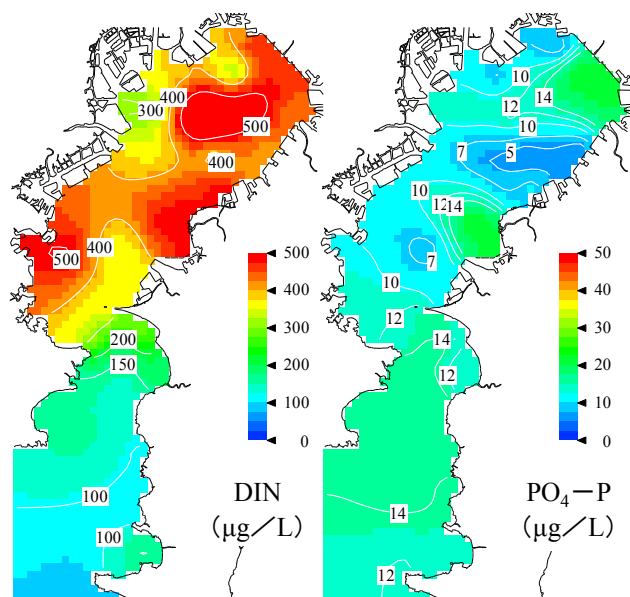


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

## 【黒潮の状況】

黒潮はC型基調で推移し、その流軸は6日現在、青ヶ島付近を通過した後、伊豆諸島東側を北上しながら、房総半島南東岸を北東方向に流れています(図8)。

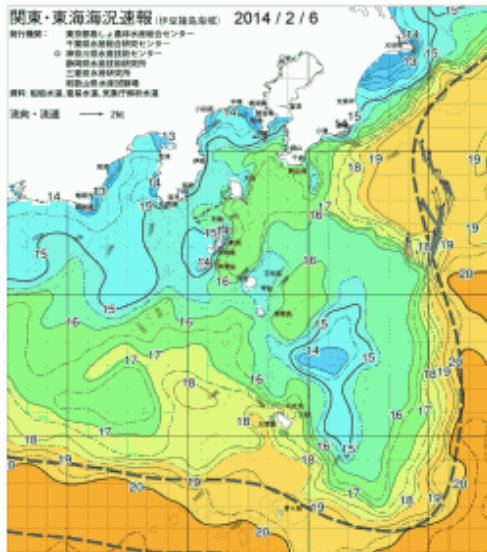
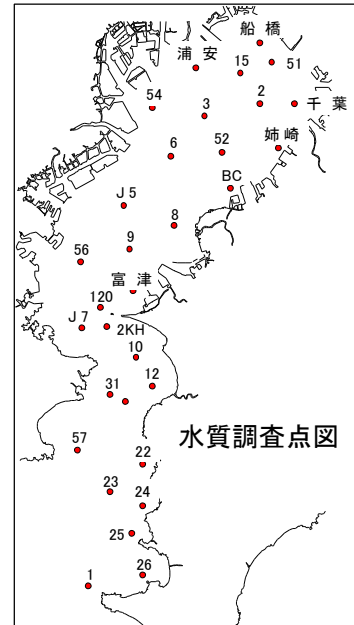


図8 黒潮の動き (平成26年 2月 6日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値 (2004~2013年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (μg/L)	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	クロロフィルa (μg/L)
内湾	船橋	9.4 (9.1)	31.61 (30.96)	2.5 (3.1)	8.1 (8.4)	5.6 (7.0)	39 (49)	448 (467)	5 (14)
	st.15	9.6 (9.6)	31.66 (31.20)	3.0 (3.4)	— (8.4)	— (6.1)	65 (41)	334 (460)	13 (10)
	st.3	10.4 (9.5)	31.51 (30.72)	3.5 (3.9)	8.1 (8.4)	5.6 (6.2)	108 (71)	649 (536)	12 (13)
	st.6	10.0 (9.5)	31.99 (31.16)	4.5 (4.5)	8.1 (8.4)	5.6 (5.8)	52 (40)	369 (439)	5 (8)
	st.9	10.6 (9.9)	32.96 (31.53)	5.5 (5.2)	8.1 (8.3)	5.7 (6.3)	46 (47)	347 (398)	7 (11)
	st.BC (盤洲Cブイ)	11.3 (10.8)	32.50 (31.44)	5.0 (3.9)	8.1 (8.4)	5.7 (6.1)	37 (48)	494 (420)	8 (12)
	st.8 (盤洲A南)	10.7 (10.0)	32.90 (31.66)	5.5 (4.0)	8.1 (8.3)	5.7 (5.4)	125 (44)	496 (398)	21 (12)
	富津	11.6 (10.4)	33.03 (31.55)	5.5 (4.9)	8.1 (8.3)	5.7 (5.8)	64 (57)	346 (375)	9 (13)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	10.1 (11.2)	32.80 (32.82)	5.0 (6.4)	8.2 (8.3)	— (32)	65 (32)	333 (282)	13 (13)
	st.31	13.9 (12.3)	34.26 (33.34)	15.0 (9.5)	8.2 (8.3)	— (21)	14 (227)	140 (14)	15 (14)
	st.23	15.0 (14.7)	34.48 (34.22)	18.0 (17.9)	8.2 (8.2)	— (10)	7 (116)	111 (14)	15 (14)
	st.1	16.0 (15.4)	34.58 (34.41)	21.0 (19.5)	8.2 (8.2)	— (12)	7 (109)	86 (109)	12 (15)
	st.10 (下洲沖)	13.0 (12.3)	34.04 (33.45)	11.0 (7.4)	8.2 (8.2)	— (22)	36 (229)	191 (229)	15 (15)
	st.12 (湊沖)	12.0 (12.4)	33.78 (33.60)	8.0 (7.0)	8.2 (8.3)	— (14)	21 (171)	161 (171)	11 (13)
	st.22 (保田沖)	15.2 (14.5)	34.53 (34.20)	19.0 (16.5)	8.2 (8.2)	— (14)	4 (149)	97 (149)	15 (14)
	st.24 (富山沖)	15.6 (15.0)	34.55 (34.33)	27.0 (17.9)	8.2 (8.2)	— (15)	6 (141)	90 (141)	14 (15)
	st.26 (館山湾内)	16.0 (15.3)	34.55 (34.40)	20.0 (17.3)	8.2 (8.2)	— (13)	9 (124)	150 (124)	12 (16)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。